

庄川水系の農業用水の歴史 History of Irrigation Channel in Shogawa Basin

松岡 樹

Matsuoka Tatsuru

1. 加賀藩の治水

庄川は富山県西部を流れる流域面積（1189km²）の93%が山地の急流河川である。現在の庄川は扇状地の東側を流下するが、この場所に固定されたのは今から300年ほど昔で、それ以前は幾筋もの分流があり洪水の度に流路が変化するような河川であった。当時、加賀藩（藩主前田利常）は1669年の発生した洪水を機に主流となった中田川（図1）へ庄川河道を一本化するため、扇頂部から弁財天前で長さ約1.5kmにおよぶ大規模堤防の築造に着手した。工事は40年余りの歳月をかけ1714年に完成、その後1807年に根固めとして松数百本が植えられたことから、俗に「松川除」と呼ばれるようになった。

2. 開田と用水路の管理

加賀藩は、「改作法」と呼ばれる農業救済制度と「十村」（大庄屋）と呼ばれる農民の代表による統治体制を確立した。松川除の完成後、加賀藩の積極的な農業振興策により、農民たちは自然流を用水路に改修し、河川跡地を開田していった。このようにして、庄川流域の砺波郡の石高は27万石程度になるとともに、扇央部には新村が続々と誕生し散居村と呼ばれる独特な村落形態を形成していった。

このように開田が進むにつれて整備された用水路（庄川両岸に12施設：図2）であるが、これらの整備・管理費は、工事規模に応じて御納戸銀（藩費）、諸郡打銀、郡打銀、江下米（維持管理費）に区分された。また、管理組織は改作奉行のもと郡奉行-十村-江（用水）肝煎-江下総代に組織化され、明治以降は水利組合に再編されている。取入れ口は各用水が各々で設けて、庄川に川倉（図3、写真1）を設置して導水した。しかし、出水の度に修復をする必要があること、干ばつ時には上下流で河川水が取り合い



図1 庄川の河道変遷

River channel change in Shogawa

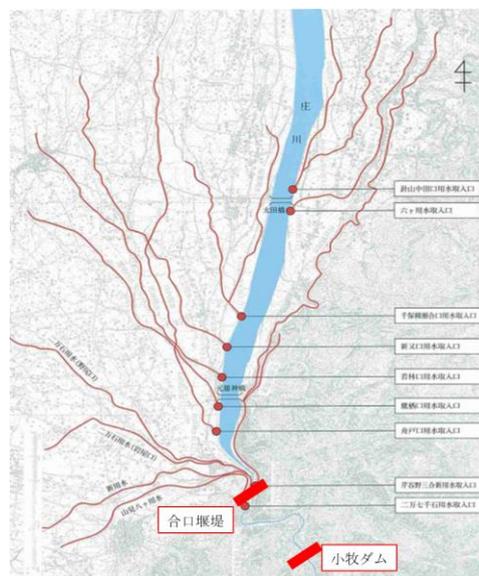


図2 合口前の用水取入位置（昭和10年）

Headworks location before intake unification

*庄川沿岸用土土地改良区連合

キーワード：松川除，前田利常，合口事業（堰堤），小牧ダム，浅野総一郎，根尾宗四郎

となり、農民間の争いが絶えなかった。

3. 庄川用水合口事業

明治時代になると取水口の合口は水力発電という新たな水利用形態の出現によって大きな転機を迎えた。1916年富山県氷見出身で実業家の浅野総一郎（京浜工業地帯の父）は庄川水域での発電計画を立て、県に水利使用許可を出願、1919年に許可が出て庄川水力電気を設立し、当時東洋一といわれた小牧ダムが1930年に完成した。小牧ダム事業計画は用水合口の好機となった。ダムの建設によって、庄川下流側への砂利の供給がなくなり取水が困難になることなど、各用水はこれまでの利害関係を超越して共同で強固な取水堰の設置に迫られた。

1924年、地元有志により庄川取入用水合口期成同盟会（会長根尾宗四郎：砺波市庄下村）が結成され、上下流間の利害調整等用水合口化の動きが加速した。その結果、1926年に庄川用水合口事業の実施が富山県議会で決定され、水力発電事業との共同事業により1939年に庄川用水合口ダム（写真2）が完成、戦時中の1943年にダムにつづく幹線用水路と旧の各用水路がつながり合口事業は完了した。

4. 戦後の土地改良事業

戦後の食糧危機にあって、藩政時代に開削された旧用水路の老朽破損が著しく、食糧増産に向け用排水路の整備が促進された。1947年に二万石用水改良事業が着手され、その後も各用水路の改良事業が進められた。

1960年代の高度経済成長期には、全国にさきがけてほ場整備事業が各地区で実施され1980年頃までには砺波平野全域にわたってほ場整備が完了し、大型営農機械による効率的な水田営農が実現した。また、ほ場整備に連動し庄川扇状地の砂礫浅耕土地帯に耕土を補給する流水客土が実施された。流水の運搬力を利用し、整備された用水路に泥水を流し各農地に引き入れる工法で大幅な省力化が図られた。1987年には、全国初の流れ込み式発電所となる安川発電所が整備され、現在、合口ダムからの農業用水を利用して9施設の小水力発電所が稼働している。庄川水系の豊かな農業用水は、防火、地下水涵養、自然生態系の保全、散居景観の創出など多様な役割を担っている。

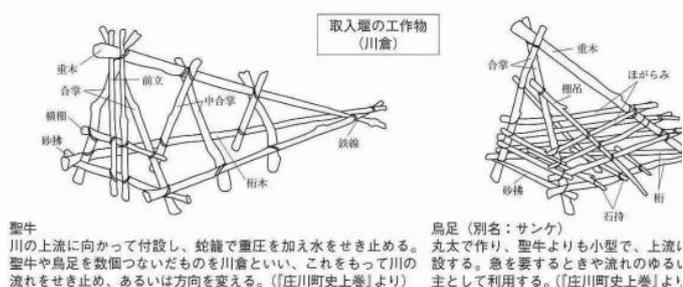


図3 川倉

Kawakura (A form of weir)



写真1 舟戸口用水取水施設（昭和11年）

Funatoguchi Weir



写真2 庄川用水合口ダム

Shogawagouguchi Dam